

大鷹千秋町長は  
日高町議会3月会議に  
おいて  
町政執行方針を述べ  
行政運営に対する  
決意を表明しました。



町長 大鷹 千秋

## まちづくりの 基本姿勢

令和2年日高町議会3月会議の開会にあたり、私の所信を申し述べさせていただきます。町民の皆様をはじめ議員各位の御理解と御協力をいただきたいと存じます。

全国的な人口減少と少子高齢化の波は我々の予想をはるかに上回るスピードで進行しており、国内で生まれた子ども数が、統計を取り始めて以来初めて90万人を割り、また、死亡者数から出生数を差し引いた人口の自然減についても、初めて50万人台を超えたと公表されたところです。

人口減少・少子高齢化は、地方における経済活動の働き手不足や社会保障経費の増など、小規模自治体を取り巻く環境をますます厳しくしていくものであります。

日高町におきましても、人口減少とともに少子高齢化が進んでおり、かつて経験したことのない状況が続くことが予想されます。

これからはこのような環境に対応し、持続可能な行政運営を目指すとともに、真に必要な政策実現のために各種事業の取捨選択を行いながら、より安心して過ごせるまちづくりに向けて全力を尽くしてまいりますので特段の御理解を賜りますようお願い申し上げます。

次に町政を推進するための主な政策について、申し上げます。

## 地域産業の振興

### ◎農業の振興

農業につきましては、稲作・施設野菜・畜産・酪農・軽種馬産業と幅広い経営が展開されており、TPP等の貿易のグローバル化が刻々と進展する中、地域においても多様な競争力を高める農業経営が必要な情勢でありますので、各種事業を有効に活用し、経営基盤の安定を図るとともに将来を見据えた農業経営のあり方について、

農業者の皆さん、農業関係団体とともに築いてまいります。

中でもかねてからの懸案事項である農業従事者の高齢化や後継者不足への対策につきましては、東京・札幌等で開催されるイベントで新規就農者を発掘するほか、国の制度等の積極的な活用や関係機関との連携を深めながら多様な担い手の確保・育成に努めてまいります。

### ◎有害鳥獣対策

有害鳥獣対策につきましては、引き続き日高管内で連携したエゾシカ・アライグマ等の有害鳥獣駆除の実施により、農林業被害の減少に努めてまいります。

### ◎ホッカイドウ競馬

ホッカイドウ競馬につきましては、令和元年度の開催において単年度の売上げが平成6年度以来、25年ぶりに300億円を超えるなど、好調な売上げで7年連続の黒字決算見込みとなりました。

さらに今年は、地方競馬

の祭典であるJBC競走の20回目の節目として創設される「JBC2歳優駿（JpnIII）」が門別競馬場で開催されますので、全国から多くの関係者や競馬ファンの来場が見込まれます。

これを機会に、今後も日高管内の基幹産業である軽種馬産業を支える産地競馬としての体制をさらに強化していくために、北海道や関係機関と一体となって、より一層の活性化に努めてまいります。

### ◎林業の振興

林業につきましても、森林の有する多面的機能を持続的に発揮させるため、森林整備を計画的に実施し、人工林の持続的な更新を図るとともに、利用可能な資源については売り払いを視野に入れ、町有林の健全育成と森林機能の保全・活性化を図ってまいります。

民有林整備については、未来につながる森づくり事業等を継続しながら、森林環境譲与税を活用して未整備森林所有者への意向確認や新たな地域材利用事業の検

討を行い、森林所有者の森林整備意欲の増進を図ってまいります。

### ◎水産業の振興

水産業につきましても、主要魚種であるさけ・ますの漁獲量低迷が続いていることから、安定した水産資源供給と漁業の健全な発展に資するため、水産資源の増殖事業を継続してまいります。

また、ひだか漁業協同組合が事業主体となり、令和元年度に着工しました「静内対空射撃場周辺漁業用施設設置助成事業」水産物加工施設の整備に対して引き続き必要な支援を行ってまいります。

### ◎商工業の振興

商工業につきましても、昨年制定された日高町中小企業・小規模企業振興条例を基本に、町内商工業の大半を占め、地域経済の発展に重要な役割を果たしている小規模企業の振興を図るため、商工会と連携した具体的な施策を推進してまいります。

あわせて、プレミアム商品券発行事業などにより町内消費の拡大を図り、地域経済の活性化に努めてまいります。

### ◎観光産業の振興

観光振興につきましても、町内の魅力ある観光資源を再認識してブランド化を進めていくため、地域の観光資源を掘り起こす取り組みを行っていくとともに、観光情報の発信に努めてまいります。

また、むかわ町・平取町と連携し、一つのエリアとして広域的な観光振興に取り組んでいる「鶴川・沙流川WAKUWAKU協議会」事業は、地域の現状や課題、観光客のニーズを把握し、広域での観光行政の方向性を見いだす重要な取り組みであり、今後も積極的に取り組んでまいります。

## 生活環境の整備

### ◎地域公共交通

地域公共交通につきましても、通学や通院の移動手

段として地域住民の生活の足を確保するため、既存の生活バス路線、町営バス及び町が実施している各送迎事業などの利用状況を分析するなど、より利便性・効率性が良い交通体系の構築に取り組んでまいります。

また、平成27年1月から運休しているJR日高線につきましても、日高管内7町での協議を続けておりましたが、昨年11月に開催された町長会議におきまして、日高沿線の広域公共交通について、鉄道に代わり持続性があり、より利便性の高いバス路線の構築を目指すこととなりました。

日高町におきましても、富川地区が広域公共交通のハブポイントと位置づけられておりますことから、まちづくりのための地域振興策を含め、利用しやすく、効率的な地域の公共交通確保に向けてJR北海道との個別協議を進めてまいります。

### ◎道路の整備

道路整備につきましても、国が推進するインフラ老朽化対策に基づき、個別

施設計画の策定を進めるとともに、幹線道路網の整備促進や劣化・損傷した路面の補修、道路排水整備など長寿命化による道路環境の適切な維持管理に努めてまいります。

橋梁整備につきましても、国のインフラ老朽化対策に基づき、計画的に予防保全を行うための個別施設計画の策定を進めながら、長寿命化修繕計画に基づき法定点検を行ってまいります。

### ◎住宅の整備

町営住宅につきましても、住生活基本計画及び公営住宅等長寿命化計画に基づき、表町団地の整備や新栄団地の新たな整備計画に着手するほか、修繕などの長寿命化対策を継続的に推進してまいります。

### ◎上下水道の整備

下水道事業につきましても